

な るほど その24 本願寺

本願寺 恒例法要と行事 6月
6月5日(水曜日)～6月8日(土曜日)
大谷本廟納骨・永代経法要

大谷本廟へご納骨された方、永代経のご縁を結ばれた方を対象とし、亡き方々の往かれたお浄土に思いを馳せ、今を生きる私たち一人ひとりの「いのち」のあり方を見つめなおす機縁とするとともに、阿弥陀如来のお徳を讃え、「南無阿弥陀仏」のみ教えに遇い得たことを喜ばせていただく法要です。

この法要は、大谷本廟内の礼拝堂で行われており、有縁の方々のご法名等をご記入いただいた法名奉呈用紙をご尊前に奉呈させていただいています。



明著堂での焼香

礼拝堂での焼香



礼拝堂での焼香



五条袈裟 右が冬用 左が夏用



僧衣(布袍) 右が冬用 左が夏用



夏足袋

足袋にも夏用があること。この足袋ですが、夏用は薄地なので涼しく履けますが、そのため傷みも早い。気付くと、親指の箇所が破けています。破けるまで修業を積んだ...という証拠かな。

私は、きつちり六月一日より、夏の僧衣へチェンジします。衣を替えた瞬間、急に体までも軽くなった感じで、とっても気持ち良いものです。

『えー、お坊さんも、衣替えるの?』って、思われた方もいらっしゃることでしょね。僧衣から袈裟、白衣、全て夏用があるんですよ。お葬式の時に着用する七条袈裟にも、夏用があります。特に、この七条袈裟は、冬用と夏用では重量が全く違います。冬用は、ずしりと重く、動作もぎこちない感じ。夏用は、軽々として風を通し、何より軽快に動けます。法事用の五条袈裟にも冬用と夏用があります。そして意外に思われるのが、

住職レター

衣替える日、皆さんは、いつなのでしょうかね？
以前ほど、この衣替える日が、きつちりと定まっておらず、なんだか曖昧な感じで、いつの間にか衣替えをした...、という感じではありませんか？

おそらく、クールビズの習慣や、服装の個性化も影響しているのかもしれない。